

高齢者が活躍する環境の整備は

問 医療、介護費の抑制の側面から、元気な高

答 「団塊の世代」といわれる方々が後期高齢者となる、いわゆる「2025年問題」において、後期高齢者医療制度における給付費の約4割を現役世代が負担していることから、負担増が予測されます。



医療費削減に有効な100歳体操

問 少子高齢化により税収の減少が将来的に予測される中、医療や介護に関わる歳出は反対に増えたとされるがどうか。

答 「ウェルカム高齢化アンケート」の結果からも、就労することが元気の秘訣になっていることがうかがえます。働く意欲のある高齢者が能力や経験を生かし、地域社会における活躍の場を整備することは重要と認識しています。



無会派 戸田 敦大

問 高齢者に活躍してもらう「生涯現役推進地域連携事業」を取り入れるなど、環境を整備する必要があると考えるがどうか。

答 ワクチン接種は、高齢者や若年、基礎疾患のある方には是非ともと思う。しかし、子どもへの接種には、本質的なことを伝えることが大事で、接種誘導する必要はない。日々の生活の在り方が身体を作り、免疫力を高める日常生活を送ることや、フレイル予防を意識すべきでは。

ウィズコロナを見据えた検証を

問 必要視点を考えています

低接種率予測もあり、市民の感染防止や重症化を防ぐことが大事で、接種に向けPRに努めます。外に出かける散歩やサロン、10



ワクチン集団接種

問 ワクチン接種は、高齢者や若年、基礎疾患のある方には是非ともと思う。しかし、子どもへの接種には、本質的なことを伝えることが大事で、接種誘導する必要はない。日々の生活の在り方が身体を作り、免疫力を高める日常生活を送ることや、フレイル予防を意識すべきでは。

問 0歳体操等が有効と考えています。

答 ウィズコロナを見据え、公共施設は集約化、効率化からの転換を検討し、検証すべきでは。



無会派 田中 孝始

問 公共施設の在り方や運営方法は、対処的な対応に終始しており、財源を含めた検討が必要で、もう少し時間を要します。

「子育てしやすい街」とは

問 子育てしやすい街に

第一に「安全・安心」を基盤に、環境作りをしていくため、現場の視点に立った行政運営を行います。本市は「子ども・子育て支援事業計画」を策定しており、子ども・子育て会議で様々な意見を聞いています。直近の会議では、短時間子ども預かり、休日の遊び場充実などの意見を頂いています。



4月に開院した助産院

問 産後ケア事業の実績と結果の検証は。

答 産後ケア事業は平成30年から実施しており、平成30年度は1件、令和元年度は0件、2年度は2件、3年度は9件でした。

問 産後ケア事業の実績と結果の検証は。

答 産後ケア事業は平成30年から実施しており、平成30年度は1件、令和元年度は0件、2年度は2件、3年度は9件でした。



住民目線の会 村田 沙織

問 産後ケア事業の実績と結果の検証は。

答 産後ケア事業は平成30年から実施しており、平成30年度は1件、令和元年度は0件、2年度は2件、3年度は9件でした。

輝く淡路市になるチャンスでは

問 2025年に開催される大阪・関西万博では、会長、副会長とも淡路島に縁のある人物だ。万博には約150団体が出展を希望し、市にとっても千載一遇のチャンスである。万博にはグローバルゼーション(世界規模化)、ダイバーシティ(多様性)、イノベーション(技術革新)を生かした、淡路島と夢洲を結ぶ航路が必要だ。三市や県、企業の協力の下、水素船など話題を呼ぶことで万博と連携させる。とにかく津名港への就航が、ベストだと思



活用が期待できる津名港

問 2025年に開催される大阪・関西万博では、会長、副会長とも淡路島に縁のある人物だ。万博には約150団体が出展を希望し、市にとっても千載一遇のチャンスである。万博にはグローバルゼーション(世界規模化)、ダイバーシティ(多様性)、イノベーション(技術革新)を生かした、淡路島と夢洲を結ぶ航路が必要だ。三市や県、企業の協力の下、水素船など話題を呼ぶことで万博と連携させる。とにかく津名港への就航が、ベストだと思

問 2025年に開催される大阪・関西万博では、会長、副会長とも淡路島に縁のある人物だ。万博には約150団体が出展を希望し、市にとっても千載一遇のチャンスである。万博にはグローバルゼーション(世界規模化)、ダイバーシティ(多様性)、イノベーション(技術革新)を生かした、淡路島と夢洲を結ぶ航路が必要だ。三市や県、企業の協力の下、水素船など話題を呼ぶことで万博と連携させる。とにかく津名港への就航が、ベストだと思



会派代表質問 淡路クラブ 岬 光彦

問 万博を機に活性化を目指す

夢洲を発着する航路は、県で検討され、令和3年11月に実証実験が行われました。航路開設には関係自治体がそれぞれ検討を行っており、本市も二次交通の在り方について検討します。

SDGsと選ばれるまちの実現は

問 魅力的な街へ

第2次淡路市総合計画・後期基本計画では、全ての基本方針にSDGsの目標(「ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう」)を掲げています。本市の住民、地域等とのパートナーシップによる取組は移住相談窓口の設置、関係人口創出の大学生との事業、地域新電



計画に取り上げられたSDGs

問 国連で採択され、2030年までに達成すべき持続的な開発目標のSDGsのうち、「パートナーシップの推進」と「選ばれるまち」の実現への戦略は。

問 国連で採択され、2030年までに達成すべき持続的な開発目標のSDGsのうち、「パートナーシップの推進」と「選ばれるまち」の実現への戦略は。



会派代表質問 結いの会 多田 耕造

問 国連で採択され、2030年までに達成すべき持続的な開発目標のSDGsのうち、「パートナーシップの推進」と「選ばれるまち」の実現への戦略は。

志筑川放水路に記念碑を

問 志筑川放水路に記念碑を

志筑川放水路分流地点に、放水路の役割と効果を示した看板が設置されており、新たな記念碑については



街の安全の要である志筑川放水路

問 志筑川水系の治水事業としては、昭和51年に宝珠川が改修、平成26年には念願であった志筑川放水路が新設され、志筑地区の被害は激減した。宝珠川改修記念碑は設置されており歴史が分かるが、志筑川放水路新設には記念碑がない。後世に伝える意味からも、記念碑の建立を検討してはどうか。

問 志筑川水系の治水事業としては、昭和51年に宝珠川が改修、平成26年には念願であった志筑川放水路が新設され、志筑地区の被害は激減した。宝珠川改修記念碑は設置されており歴史が分かるが、志筑川放水路新設には記念碑がない。後世に伝える意味からも、記念碑の建立を検討してはどうか。



住民目線の会 岬下 博史

問 志筑川水系の治水事業としては、昭和51年に宝珠川が改修、平成26年には念願であった志筑川放水路が新設され、志筑地区の被害は激減した。宝珠川改修記念碑は設置されており歴史が分かるが、志筑川放水路新設には記念碑がない。後世に伝える意味からも、記念碑の建立を検討してはどうか。